

中高大学生を対象とした
SDGsヒアリング調査
インタビュー集 2022



はじめに	2
関西 NGO 協議会インターンズ紹介	3
SDGs インタビュー 大学生編	4
大学生① H.N.さん インタビュアー：石丸汐見さん	5
大学生② M.K.さん インタビュアー：谷口倫汰さん	8
大学生③ C.K.さん インタビュアー：中筋裕樹さん	11
大学生④ M.I.さん インタビュアー：武藤雅隆さん	14
大学生⑤ Y.T.さん インタビュアー：武藤雅隆さん	17
SDGs インタビュー 高校生編	20
高校生① Y.O.さん・K.S.さん・H.T.さん インタビュアー：武藤雅隆さん	21
高校生② M.T.さん・U.M.さん インタビュアー：中筋裕樹さん	25
高校生③ T.M.さん・Y.U.さん インタビュアー：石丸汐見さん	28
高校生④ E.H.さん・M.I.さん インタビュアー：谷口倫汰さん	32
SDGs インタビュー 中学生編	36
中学生① A.K.さん・H.W.さん・M.H.さん インタビュアー：武藤雅隆さん	37
中学生② M.K.さん・S.S.さん・Y.N.さん インタビュアー：中筋裕樹さん	40
おわりに	44

はじめに

本冊子は、関西の中学校・高校・大学に通うコース世代を対象に、(特活)関西 NGO 協議会が実施した、SDGs に関するインタビューをまとめたものです。当冊子は、2021年度に1000人弱のコースを対象とした SDGs に関するアンケート調査を行い、『中高大学生を対象とした SDGs 意識調査アンケート調査結果報告書 2021』¹を作成しました。そしてその結果から、「SDGs を知らない」というコース世代はむしろ珍しいない一方で、SDGs のものを探り理解している人はまだ多くない」と、「学校の授業で SDGs に触れる機会が多いほど関心が高まる」といったことがわかった。興味深いことが見えていました。

¹ 「中高大学生を対象とした SDGs 意識調査アンケート調査結果報告書 2021」
http://kansaingo.net/kansai-sdgs/2022/04/26/youthsdgs_surveyresults/

本文中の「障害」とこの表記については、障害せ、その人自身ではなく社会との関係性のせいもあるといい理解の上、「障がい」ではなく「障害」としておきます。

「人によって関心の高さや理解度に差がある」ということ以前に、自身の関心の高さや理解度を自身でどう判断するか、その基準（自己評価基準）から既に人それぞれ様々であること」など、アンケート調査だけでは見えなかつたことが、今回のインタビューを通じて明らかになります。せひ、本編での詳細をご確認ください。

日本社会におけるコースのアレゼンスの低さは、しばしば課題として挙げられます。しかしながら現状にもかかわらず、もしSDGs の目標す持続可能な社会が達成されなかつた場合に最も大きな被害に遭うのは「将来世代」と呼ばれる今のコースたちです。そんな「当事者」であるコース世代の皆さんとの直接的な「声」を、ぜひこのインタビュー集から汲み取っていただければ幸いです。

かつてインタビュー記事についていえば、コース一人ひとりの思いやその細かなコトノハが少しでもわかるればといふ思いから、なるべくその

のままの表現を採用し、記事化していました。また



SDGs インタビュー

大学生編

インタビューを務めてくれた

// 関西 NGO 協議会のインターンの皆さん //



石丸汐見さん

大学 4 年生
学校の所在地：大阪府
インターン 1 年目。経済学部。
インターン修了時に事務局長から
授けられた漢字は「陽」。



谷口倫汰さん

大学 4 年生
学校の所在地：京都府
インターン 1 年目。国際学部。
インターン修了時に事務局長から
授けられた漢字は「直」。



中筋裕樹さん

大学 4 年生
学校の所在地：兵庫県
インターン 1 年目。人間福祉学部。
インターン修了時に事務局長から
授けられた漢字は「挑」。



武藤雅隆さん

大学 4 年生
学校の所在地：大阪府
インターン 2 年目。経済学部。
インターン修了時に事務局長から
授けられた漢字は「睦」。

大学1年生（京都府）

H.N.さん



インタビュー 石丸夕見さん

石丸さん 今日は引き受けたばかりありがとうございます。

Nさん よろしくお願いします。

石丸さん SDGsについてはご存じですか。

Nさん 軽く知っています。

石丸さん どのように認識していますか。

Nさん 17個のゴールがあることは知っています。大学の国際経済や政治の授業で環境問題に関連して出てきました。高校の公民の授業でも少し聞いたことがあります。

石丸さん 私は4回生（4年生）なので、高校の授業で聞いた経験があります。一つひとつ問題というよりは、国際的な動きとして学ぶのですね。

Nさん そうです。

Nさん 貧困、途上国との格差、環境、そして、みんなが平等といったイメージを、17個のゴールのアイコンから持っています。

石丸さん 特定の授業で深掘りしたから覚えてる、といつわけではないということでしょうか。

Nさん 授業では軽く聞いた程度です。

石丸さん ボランティアや公民に興味があるとのことです。その中でも、これから取り組んでみたい社会課題として関心のある問題は何でしょうか。

Nさん 貧困、それから、平等です。

石丸さん ではボラセンでの活動の中で、貧困や平等に関連してやってみたい具体的なボランティアなどはありますか。

Nさん それであれば、私は環境問題に関連するボランティアがしたいです。ボラセンからさまざまな環境問題があるところに行くことができます。

石丸さん それは環境問題についてボラセンで扱う案件が多いからでしょうか。

Nさん そういうわけではなく、いろいろな項目がある中でも取り組みたいのは環境ということです。ごみ拾いなど、一番取り組みやすい課題だからです。他のものは取り組むには非常に重い、大きな課題だと思います。

石丸さん なるほど。こうしたボランティアは友達と行きますか。それとも一人で行くのですか。

石丸さん あと少し質問させていただきます。高校と大学の授業で、SDGsが出てきた頻度、回

ベルについて伺います。1から10のうち、高校の授業で知った1になつたとすれば、それから授業で触れたり、イベントで見かけたりする中で、SDGsの身近さのレベルはどう変化していくましたか。

石丸さん 今も全くということですね。

Nさん はい。ただ最近、授業やテレビでよく聞くようになりました。メディアなどでも頻繁にSDGsが取り上げられています。

石丸さん でも普段はあまり身近に感じないのですね。よく聞くけれども自分にとって身近ではないのは、どのような理由があると思われますか。

Nさん 自分でSDGsについて調べることがないからかと思います。

石丸さん それほど身近なところで扱われることがないということですね。

Nさん はい、あまりないです。

石丸さん Nさんは大学のボランティアセンター（以下ボラセン）に所属されているのですか。

Nさん 友達で分かっていそうな人は、あまり思い浮かべないです。

Nさん おそらくですが、言葉は聞いたことがないけれども細かくは知らない、ということではないかと思っています。

石丸さん 私もNPOでインターンをして初めてしっかりと見て、それとなく分かった感じです。自分で実践に移すことは少ない気がしますね。

Nさん おそらくですが、言葉は聞いたことがあります。

石丸さん Nさんは大学のボランティアセンターで、ボラセンのメンバー数名で行きます。気軽に感じられるものにするためには、どのような取り組みがあつたら良いと思いますか。

Nさん 難しいですね。自分がまだSDGsのことをよく分かつていないので、もっと深掘りさせてくれるような機会があればと思います。

石丸さん 授業で一方的に聞くのではなくといつことでしょうか。

Nさん 聞くのも良いですが、SDGsを詳しく聞くことも今までなかつたので、深く知ることができれば、みんなもっと考えるようになるのではないかと思います。

石丸さん 正直、SDGsに意味はあると思いますか。

Nさん 国連で考へてることですから、意味はあるのではないかでしょうか。

石丸さん SDGsに対して今持っているイメージとしては、プラスのイメージですか。

Nさん プラスです。



インタビュー中の様子

代制で行っています。

石丸さん ボラセンのメンバーは全體で何人ですか。

Nさん 自分のキャンパスでは55人ほどです。

石丸さん とても多いですね。NさんはSDGs以外の社会問題への興味はあるのですか。

Nさん はい。高校時代は、世界経済や政治を学習する公民が好きでした。

石丸さん 公民からの興味というのは面白いですね。それでボラセンにも入ったのですか。

Nさん そうです。



数を教えてください。

Nさん 大学の授業では後期に週1回、国際的な授業があり、最初の2、3回にSDGsの話が出てきました。

石丸さん その時はSDGs全体として取り扱いましたか。それとも各ゴールをトピックとして扱いましたか。

Nさん 環境や貧困の話の流れで出てきました。SDGsそのものをじっくり学ぶ形ではあります。

石丸さん 高校の時は、頻度や回数はどれくらいでしたか。

Nさん 高校の時は、ほとんどなかったです。教科書に載っているので公民の授業で少し出た程度です。

石丸さん それでは授業以外でSDGsを見かけるのは、どんな時ですか。

Nさん 住んでいる寮の1階に、「環境のためにエアコンの使い方に気を付けよう」ということが掲示されていた気がします。ポラセンでも見ます。今見るところではそのくらいでしょうか。

石丸さん 大学にはそうした掲示がありますよね。

Nさん 所々張つてあるようですが、しっかりと見ていません。

石丸さん わかりました。今日はありがとかったです。

SDGs インタビュー 大学生編②



大学3年生（京都府）

Kさん 大きく目に見えて差があるというよりも、一人ひとりの意識に、「女子は数学が苦手」、「男子はマッチョでなければ」といった、無意識の偏見のようなものが根付いていることが問題だと感じます。

谷口さん Kさんは大学のボランティアセンター（以下ボラセン）に所属されているのですが、ボラセンに入ったことにSDGsは関係していますか。

Kさん あまり関係していません。ボランティアに興味があるのと、社会問題に関わる活動をしていると聞いて入りました。

谷口さん どのようなボランティアをしているのでしょうか。

Kさん 発達障害を持つ方々への支援ボランティアによく行っています。

谷口さん それはボラセンを通しての活動ということですか。

Kさん いいえ、自分で探したものです。

谷口さん 理由を教えてください。

Kさん 所属大学がジェンダーに配慮していて、その姿勢やさまざまな取り組みを見て興味を持つようになりました。

谷口さん 確かに共用トイレの存在や、トイレに生理用品が置いてあることを聞いたことがあります。ではジェンダーの問題で、日本ではどんなことが深刻だと感じますか。

いました。これでインタビューを終わります。

Nさん ありがとうございました。



インタビュー中の様子

谷口さん Kさんは3年生ということで、就活が始まると思います。SDGsに力を入れている企業もありますが、大人と僕たちの間で、SDGsに関する問題意識に何か違いがあると感じますか。また、ジェンダー以外でもっと知りたい項目はありますか。

谷口さん では、SDGsはジェンダー以外に、環境や貧困などについての項目があることを知っていますか。また、ジェンダー以外でもっと知りたい項目はありますか。

Kさん 「質の高い教育」に興味があります。

谷口さん それはなぜですか。

Kさん ボランティアで発達障害の子どもなどに

関わる機会が多いからです。

谷口さん 子どもへの関わりから、教育の大切さを感じているのですね。逆に、SDGsの中でもイメージが湧きにくい、あまり考えたことがない目標はどうでしょうか。

Kさん 「エネルギーをみんなに。そしてクリーンに」は、非常に抽象的で壮大だと感じます。自分たちに何ができるのだろうと思つてしまします。

谷口さん 企業などしかできないのではないか、僕たちが少し動いたところで変わるのだろうかと思うのですね。

Kさん そうですね。太陽光発電かな?といった感じで、あまりピンときていません。

谷口さん 僕の個人的な意見ですが、SDGsは、何をすれば目標を達成できるのかがもつと分かりやすければ良いのだと思います。

谷口さん 少し質問を変えます。そうした興味がある分野の情報を集める時は、インターネットやInstagramなどを使つのでしょうか。

Kさん 主にインターネットを使いますが、図書館で本を借りたり、ボラセンに置いてあるパンフレットを見たりもします。



インタビュー中の様子

谷口さん 僕の所属する学部は国際系で、周りにSDGsに興味のある人が多いのですが、Kさん

の周りではあまり興味を持っています。

Kさん 私の周りではあまり聞きません。ボラセ

ンにはさまざま学部の人が多いのですが、Kさん

が一番気になつていてSDGsの目標はどう

かとをすれば良いと思いますか。

谷口さん なるほど。ではSDGsを同じ世代の若い人に知つてもらつためには、どのようなことをすれば良いと思いますか。

Kさん 抽象的で分かりにくうといふが引っかかるのを明確にした上で、InstagramやTwitter、TikTokなどで情報発信していくと良いと思います。例えばマイボトルなど、やっていることがこれに繋がる、と分かることが大事だと思います。

谷口さん 確かに、ジェンダーの話も、これをしたらすくにこれを変えられる、ということではあります。例えんよね。個人的には、17のゴールは多すぎるかもしれません。個別的には、17のゴールは多すぎる気がもしています。

谷口さん 学校の授業ではSDGsに触れる機会はありますか。僕の場合は環境の授業やサステナブルスタディーズなどがありましたが、Kさんはいかがでしようか。

Kさん 私が履修している授業に偏りがあるのかもせんよね。個別的には、17のゴールは多すぎるかもしれませんが、あまり聞きません。歴史を学んでいるからでしようか。

谷口さん あまり考えたことが無かつたです。その後、ジェンダーの話題に戻りますが、さまで生き方をして、自分らしくいる人がいるといふことを広めたいと思います。ステレオタイプにとらわれずに、自分のやりたいことをやるうと言いたいです。

谷口さん 確かに、ステレオタイプは人権やジ

ンダーに関わってきますよね。多文化共生について考えても、日本では固定観念で決めつけてしまつことが多いと感じます。

谷口さん では少しスケールの大きな質問をします。Kさんは、どんな地球になつてほしい、どんな世界になつてほしいと思いますか。

Kさん どんな人がいても「やうやう人もいる」

という見方で済ませてもいいれる社会、世界になつてほしいです。今の社会は、発達障害を持つてたり性的少数者であつたりすると特別な見方をされがちです。一人ひとりがもつと視野を広く、心を広く持つて、自分には理解や共感ができなかつたとしても、「やうやう人もいるよね」と思える社会になれば、もっと色々な人が生きやすくなるのではないかと思います。

谷口さん そのとおりだと思います。

谷口さん 最後に、今ボランティアに参加されていてジェンダーに興味があるということでしたが、将来はどのよつなことをしたいと考えていますか。

Kさん 漠然と、教育関係の仕事をしたいと思っています。教育や出版など、何か社会にじわじわと影響を与えていきたいです。

谷口さん NGOや市民社会といった、政府とは違う、企業でもない組織に興味はありますか。

Kさん 興味はあるほうだと思いますが、何をやつているかはあまり存じていません。

谷口さん わかりました。では、これでインタビューを終了します。SDGsやボランティアに

興味がある人がいると知つて、とても嬉しかったです。ありがとうございました。

Kさん 楽しかったです。ありがとうございました。

谷口さん 学部や専攻によつて差があつそつです

ね。就活の場面でも、SDGsを全く知らない人がいるそうです。

Kさん 私からも聞いてみたいのですが、谷口さんは

が一番気になつていてSDGsの目標はどう

かとをすれば良いと思いますか。

谷口さん 僕は難民の研究をしているのですが、難民は環境やジェンダー、貧困などいろいろなゴールに繋がっています。その中でも関心があるのは貧困問題です。さまざまな問題が絡み合つています。貧困を解決すれば他の問題にも取り組んでいけるのではないかと考えます。募金など限られたことしかできませんが。

Kさん そうなのです。ありがとうございます。

谷口さん あと少し質問をします。僕たちにはネットで発信する機会がありますが、インフルエンサーになつたら発信してみたいことはありますか。

Kさん あまり考えたことが無かつたです。その後、ジェンダーの話題に戻りますが、さまで生き方をして、自分らしくいる人がいるといふことを広めたいと思います。ステレオタイプにとらわれずに、自分のやりたいことをやるうと言いたいです。

谷口さん 確かに、ステレオタイプは人権やジ

中筋さん ちなみにそれはKさんの大学の学部や専門と関連する分野なのでしょうか。

Kさん そういう話が講義の中であり、考える機会がありました。それが考え始めるきっかけでした。

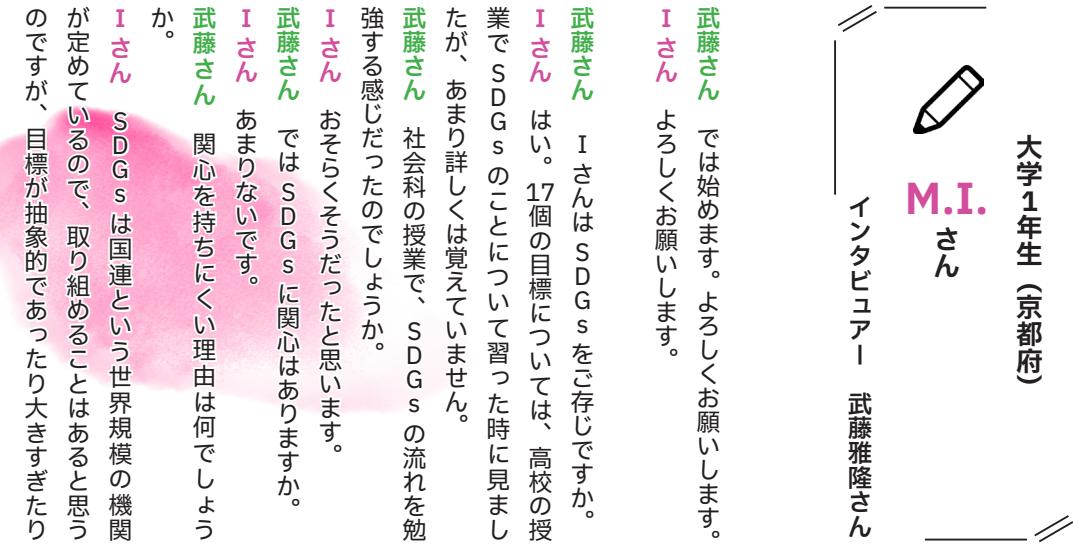
中筋さん 最後の質問です。SDGsと聞いてすぐには思い浮かぶもの、SDGsを表すのはこれだというので、何か思いつくものはありますか。

Kさん 世界にいる人、どの国の人にとっても共通のこと、共通に考えるひと、ところどりで違うか。

中筋さん ありがとうございます。質問は以上です。今日はありがとうございました。

Kさん ありがとございました。

SDGs インタビュー 大学生編④



武藤さん では始めます。よろしくお願ひします。

Iさん よろしくお願ひします。

武藤さん IさんはSDGsをい存じですか。

Iさん はい。17個の目標については、高校の授業でSDGsのことについて習った時に見ましたが、あまり詳しくは覚えていません。

武藤さん 社会科の授業で、SDGsの流れを勉強する感じだったのでしょうか。

Iさん おそらくそうだったと思います。

武藤さん ではSDGsに関心はありますか。

Iさん あまりないです。

武藤さん 関心を持ちにくい理由は何でしょうか。

Iさん か。

武藤さん SDGsは国連という世界規模の機関が定めているので、取り組めることはあると思うのですが、目標が抽象的であつたり大きすぎたり



インタビュー中の様子

して、あまり身近に感じられないのだと思します。

武藤さん 世界規模のものなので、取り組もうと思つても自分自身がこの目標に対しても何ができるのか、さつきましていて分かりにくいのですね。

Iさん そうですね。

武藤さん 17個の目標を見て、興味のあるものはありますか。

Iさん 2番の「飢餓をゼロに」が目につきました。

武藤さん 理由は何でしょうか。

Iさん 私は惣菜屋でアルバイトをしているのですが、閉店時に売れ残った商品を全て捨てなくてはならず、フードロスの問題を考えると悲しくなるからです。

武藤さん 日本でもフードロスは問題視されます。日本人にとっては身近な問題なのでしょうね。

Iさん そう思います。

武藤さん では、SDGsにもっと関心が持てる、身近に感じられる方法はあるでしょうか。

Iさん 17個の目標は、ただゴールがあるだけで、日常生活で何をすれば良いのかが分かりにくいです。例えば、フードロスが2番の目標に繋がっているとしたら、冷蔵庫の中身をよくチェック

クして賞味期限の早いものから消費するなどが考

えられるかもしれません。そんなふうに取り組みやすい行動を広く学生が知る手段があれば、もつと SDGs を身近に感じられると思います。

武藤さん 学校で SDGs について勉強するだけではなく、具体的な取り組みを学ぶことが大事だとということでしょうか。

Iさん そうです。

武藤さん 大学では SDGs という言葉を聞きますか。授業では出てくるのでしょうか。

Iさん 大学では聞きますが、授業というより、ボランティアセンター（以下ボラセン）で SDGs に関するカードゲームに参加したことが SDGs に触れる良い機会になりました。

武藤さん

それを経て自分の関心が高まつたと思いませんか。

Iさん はい。高校以来 SDGs という言葉をあまり聞いていませんでしたが、先輩が関心を持っていますことから、学生が積極的に取り組まなければいけないテーマなのだと想い、身近に感じました。

武藤さん

それを経て自分の関心が高まつたと思いませんか。

Iさん はい。高校以来 SDGs という言葉をあまり聞いていませんでしたが、先輩が関心を持っていますことから、学生が積極的に取り組まなければいけないテーマなのだと想い、身近に感じました。

武藤さん

それを経て自分の関心が高まつたと思いませんか。

Iさん 男女差は身体的に仕方がないところだと思います。

武藤さん それはなぜですか。

Iさん SNS 上では同性愛は肯定的に捉えられていて、蔑むような風潮は薄れてきていると感じます。ただ同性婚については、パートナー制度はあるものの法律では認められていません。若い世代の人々は、SNS 上のように同性愛に寛容です。小さい時からランドセルの色が男女で黒赤と分けられていなかつたり、制服も男女兼用であつたり、男女の区別がない環境で育つことが多かつたためだと思います。

これは偏見も入っているかも知れませんが、親世代は学校の授業でも、男は「技術」、女は「家庭科」といったように、男女を区別した教育がなされてきました。自分の親も同性愛者に対し好ましくない感情を持っているようで、世代として男女格差や偏見が根強いのかと思います。そうしたものがないくなれば、みんなが生きやすい日本になるのではないかと思うので、そのためにもジェンダー平等の問題に取り組むべきだと考えました。

武藤さん では、難しい質問かも知れませんが、今の自分たちよりも若い世代の方々にとつてもっと住みやすい世界になっていくために、ジェンダー平等という課題に対しても自身ができることは何だと思いますか。

す。

武藤さん 先ほどのように、SDGs の認知度を高め、事例を紹介するような取り組みであればできそうだと感じます。

Iさん はい。

武藤さん ではボラセンでの SDGs 関連の活動に参加してみて、じ自分でも何か活動をしてみたいと思いましたか。

Iさん 私は SDGs について自分から取り組みを発信したり、イベントを企画したりすることには消極的です。SDGs に関しては、日常的な小さな行動を積み重ねていきたいです。

武藤さん その小さな行動を、今は何かされていますか。

Iさん 冷蔵庫の中身を頻繁にチェックして、賞味期限の早いものから食べるとか、スーパーで食材を買う時は賞味期限の早いものを選ぶとか、食べられる量だけ買うなどしています。フードロスに関連した、気軽に見えることをしている感じです。

武藤さん ボラセンでは他にどんな活動をしていますか。

Iさん 一学年20人ぐらいなので、サークルと変わらないです。

武藤さん Iさんがボラセンに入ろうと思ったきっかけは何だったのでしょうか。

Iさん 大学に入ったら漠然と何かをやりたいと思いましたが、あまりピンとくるサークルがありませんでした。たまたま職員さんと先輩がボラセンの活動や魅力を授業の中で紹介してくれたり、自分も活動してみたいと思いました。

武藤さん Iさんがボラセンに入ろうと思ったきっかけは何だったのでしょうか。

Iさん 大学に入ったら漠然と何かをやりたいと思いましたが、あまりピンとくるサークルがありませんでした。たまたま職員さんと先輩がボラセンの活動や魅力を授業の中で紹介してくれたり、自分も活動してみたいと思いました。

武藤さん 少し違う質問をします。ご自身として関心があるのは、「飢餓をゼロに」とこうしたことじゅうじゅういました。

Iさん 男女差は身体的に仕方がないところだと思います。しかし、男尊女卑的な考え方なくするために、日頃から男だから女だからということで決めつけるような発言をしないこと、それが私たちにできることがあります。

武藤さん では最後の質問です。SDGs は2030年の達成が目指されています。それによって持続可能なより良い世界を目指すということですが、今後、こんな世界であつてほしいという夢はありますか。

Iさん 抽象的ですが、どの世代も意見を言いやすい世界、固定的な価値観にとらわれずに、自分が良いと思ったことを発言して行動を起こしやすい世界であつてほしいと思います。

武藤さん ありがとうございます。ではこれにて終了します。本日は貴重なお時間を頂き、ありがとうございました。

武藤さん 少し違う質問をします。ご自身として関心があるのは、「飢餓をゼロに」とこうしたことじゅうじゅういました。

Iさん 男女差は身体的に仕方がないところだと思います。しかし、男尊女卑的な考え方なくするために、日頃から男だから女だからということで決めつけるような発言をしないこと、それが私たちにできることがあります。

武藤さん では最後の質問です。SDGs は2030年の達成が目指されています。それによって持続可能なより良い世界を目指すということですが、今後、こんな世界であつてほしいという夢はありますか。

Iさん 抽象的ですが、どの世代も意見を言いやすい世界、固定的な価値観にとらわれずに、自分が良いと思ったことを発言して行動を起こしやすい世界であつてほしいと思います。

武藤さん ありがとうございます。ではこれにて終了します。本日は貴重なお時間を頂き、ありがとうございました。

武藤さん 少し違う質問をします。ご自身として関心があるのは、「飢餓をゼロに」とこうしたことじゅうじゅういました。

Iさん 男女差は身体的に仕方がないところだと思います。しかし、男尊女卑的な考え方なくするために、日頃から男だから女だからということで決めつけるような発言をしないこと、それが私たちにできることがあります。

武藤さん では最後の質問です。SDGs は2030年の達成が目指されています。それによって持続可能なより良い世界を目指すということですが、今後、こんな世界であつてほしいとい

う夢はありますか。

Iさん 抽象的ですが、どの世代も意見を言いやすい世界、固定的な価値観にとらわれずに、自分が良いと思ったことを発言して行動を起こしやすい世界であつてほしいと思います。

武藤さん ありがとうございます。ではこれにて終了します。本日は貴重なお時間を頂き、ありがとうございました。

Iさん 男女差は身体的に仕方がないところだと思います。しかし、男尊女卑的な考え方なくするために、日頃から男だから女だからということで決めつけるような発言をしないこと、それが私たちにできることがあります。

武藤さん では最後の質問です。SDGs は2030年の達成が目指されています。それによって持続可能なより良い世界を目指すということですが、今後、こんな世界であつてほしいとい

う夢はありますか。

Iさん 男女差は身体的に仕方がないところだと思います。しかし、男尊女卑的な考え方なくするために、日頃から男だから女だからということで決めつけるような発言をしないこと、それが私たちにできることがあります。

武藤さん では最後の質問です。SDGs は2030年の達成が目指されています。それによって持続可能なより良い世界を目指すということですが、今後、こんな世界であつてほしいとい

う夢はありますか。

大学一年生（京都府）

 Y.T.さん

インタビュー 武藤雅隆さん

関心が高いか教えてください。

Tさん 関心はあります。特にジョンソンの平等についてです。大学の授業では憲法の問題として扱われています。最近は同性婚の訴訟などがあったことからも、個人的には関心が高いです。まだ問題があるということ、同性婚の他にも、議員の数などの観点からもと男女平等にしていこうという動きがあるとよく聞きます。

武藤さん Tさん自身も、例えば制度的な部分から変えていきたいという思いなどをお持ちなのでしょうか。

武藤さん では早速始めます。よろしくお願ひします。

Tさん はい、よろしくお願ひします。

武藤さん TさんはSDGsについてほど存じですか。

Tさん はい。それほど詳しいはありませんが、目標がそれぞれ個別にあるということは知っています。授業でもよく取り上げられていて、情報が入ってきます。

武藤さん 最近は身近に感じることが多いですか。

Tさん 大学生になってからは、特にそう感じます。高校の時は、授業でSDGsという言葉が出た記憶はありません。

武藤さん ではTさん自身、SDGsに関心はありますか。あるのであれば、特にどの目標への

めにレジ袋を買わないなどの行動はしています。SDGsにはまだかもしれませんが、間接的に繋がっていると思います。

武藤さん では次の質問をします。今後自分自身で、達成に向けてこんな行動を起こしたい、といふ思いがあれば、お聞きかせください。

Tさん 大学生より下の世代にはまだあまり認知されていないように思います。結局個人が一人でやつしていく限りがあるので、全体で行動できるようSDGsをもっと広めて、広く認知されないと良いと思います。僕もSDGsやその個別の目標を知って、達成のために何をすれば良いのかを伝えられたらと思います。

武藤さん 認知度向上に關注ていきたいといふことです。大学に入つて、自分の周りでSDGsというワードがよく出てくるようになると感じる場面はありますか。

Tさん 所属するボランティアの団体では出てきています。授業でも出ますが、友人を見ている、授業の一環として覚えなければならぬことという認識のようです。SDGsの根本、何のためにあるのか、何をするのかといった趣旨を理解して行動することは、普通の大学生ではありませんように感じます。もつと授業外で知ることができると良いのではないでしようか。

武藤さん では少し話を広げますが、今日本にとつて達成すべき目標は、どれだと思いますか。

Tさん 日本国内だけで言えば、8番の「働きがいも経済成長も」だと思います。今非常に物価が上昇していて、その中で防衛費のために税金がかかることなどが問題になっています。物価が上がっているにもかかわらず、ボーナスなどが減らされているという話もよく聞きます。日本にも貧困がないわけではありませんが、アフリカなどに比べると貧困や飢餓はないとと思うので。

武藤さん 人によつて達成すべきだと考える目標がさまざま面白いです。4番の教育や、2番の飢餓に絡めてフードロスを挙げる人もいます。

Tさん それもあると思います。

武藤さん 次に、SDGsを知ったきっかけをもう少し深くお聞きしたいです。

Tさん 僕が最初に知ったのは、大学の通学で電車に乗つっていたときに、会社員の方が胸に虹色のバッジを付けていたのを見たことがきっかけです。何のバッジなのが気になり、調べました。

武藤さん 意外な経路で驚きました。第一印象は覚えていますか。

Tさん 初めは世界規模で行う、ユニセフなどのような、貧しい国の被害をなくす活動なのかと思いました。

武藤さん それが授業を経て、自分たちも関係することなどが分かつてきましたのでしようか。

Tさん はい、より理解が深まつていきました。

武藤さん ボランティア自体がSDGsに直接関わることはないのですが、実際にはどんな活動をされていますか。

武藤さん ボランティアではSDGsの話が出てくるとのことで、実際にほんんな活動をされていますか。

武藤さん ボランティア自体がSDGsに直接関わることは少ないので、文化祭ではフードロスに関連したフェアトレード商品を模擬店で出すことで、SDGsを広めようとしました。その固体に所属している人たちは、個人差はあるものの、一定程度以上SDGsを認知しています。

武藤さん それはサークルでしょうか、学生団体でしょうか。

Tさん サークルではなく、あるボランティア団



インタビュー中の様子

SDGs インタビュー

高校生編

えていく上で、自分が若い世代に対してもできるか」と、行動したいと思つことはありますか。

Tさん 繰り返しになりますが、SDGsの認知度を上げることです。僕ももうすぐ2年生になりますが、所属団体に1年生が入ってきた時に、SDGsのことやそれに関する団体での活動について伝えたいです。それ以外にも、日常で話題になった時はしっかりと「SDGs」というものがあつて、その一環でこういう活動がある「ある」ということを伝えられたらと思います。

武藤さん 若い世代に繋げていくといふことですね。
Tさん はい、SDGsを知らない人が多いと思うので。SDGsのアイコンのコラ画像（パロディのように中身を変えて面白くした画像）など、別の角度から知る人もいるようですが、本当の意味での認知度は低いと思います。

武藤さん 17個の目標自体もそうですが、目標ごとにターゲットが複数設定されていることも、併せて伝えていかなければいけないかななど思いました。

武藤さん ではこれまでとは反対に、この「ホールは印象が薄い、関心を持ちにくいと思われるものもありますか。

Tさん 自分があまり調べていない、知らないだけかもしませんが、12番の「つくる責任、つか

う責任」です。アイコンを見ても、無限大のよう

なマークがありますがそれと言葉だけでは、抽象的で意味が分かりにくいと感じます。他は見ただけどういうことが分かります。

武藤さん 確かに他と比べても、2030年までに何を達成しなければいけないのかわかりにくいですね。

武藤さん では最後の質問です。Tさんは将来的にどのような世界になつていてほしいか、どんな状況になつていてほしいか、夢があればお聞かせください。

Tさん 世界で今も続いている戦争がなくなつて、気候変動や南北問題に対して協力ができれば良いと思います。グローバルサウス、台湾をめぐる中国とアメリカのことなど、問題は色々あるとは思います。国と国とが一致団結、協力してできるようになれば良いのではないかと、無責任ながらに思います。

武藤さん それが一番ですね。どうもかしこもラ

イバル

関係というか、仲良くないと達成できるも

のもできないですから、大切だと思います。では

これにて終わります。今日はありがとうございました。

Tさん ありがとうございました。

高校1年生（大阪府）

Y.O.さん **K.S.さん** **H.T.さん**

インタビュー 武藤雅隆さん



武藤さん 改めまして、本田はよろしくお願ひします。

Oさん・Sさん・Tさん よろしくお願ひします。

武藤さん 皆さんはSDGsの17の目標を見たことはありますか。また関心の高さについてはどうでしょか。

Sさん 見たことがあります。関心も高いです。

Tさん 自分も普通の人よりは関心があると思ってます。

Oさん 自分も普通の人よりは関心があると思います。

武藤さん ありがとうございます。皆さんの関心が高い理由は何でしょうか。

Sさん 私は将来の夢が環境保全エンジニアです。地球温暖化や環境問題に関わる仕事に就きたいたので、SDGsにもそうした内容が含まれていることを知つて関心を持ちました。

武藤さん 学校生活の中ではどうでしょか。曰

Oさん 一番を決めるにすれば、14番の「海の豊かさを守ろう」です。プラスチックごみを減らそうという動きは増えてきましたが、やはりまだポイ捨てされたものが海に流れる等の問題があります。そうした現状を学んでいふことからも、14番に一番関心があります。

武藤さん 素晴らしいですね。ではOさんは、SDGsの17個の目標の中で一番関心が高いものは何ですか。

Oさん 一番を決めるにすれば、14番の「海の豊かさを守ろう」です。プラスチックごみを減らそうという動きは増えてきましたが、やはりまだポイ捨てされたものが海に流れる等の問題があります。そうした現状を学んでいふことからも、14番に一番関心があります。



インタビュー中の様子

常会話の中でSDGsといふ言葉に触れる機会は多いですか。

Sさん 頻繁にはないと想います。

武藤さん 授業で多少学ぶことがあるといつぐらいいでしょうか。

Oさん はい。

Oさん 自分も同じです。中学校の社会の授業で学んで、SDGsのことを知りました。

武藤さん Sさんはいかがでしょうか。

Sさん 環境問題への対策などを個人的に調べて

いる時に、インターネットでSDGsが出てきまし

た。素晴らしい項目がたくさんあって、「す

じら、これだ」と思いました。

武藤さん 自分が達成したい目標にぴったりだつたのです。私が中学生や高校生だった頃は

SDGsの勉強といつものではありませんでした。学校の教育が変わつてきていくと感じて興味深いです。

武藤さん では続いての質問です。SDGsには

17個の目標がありますが、皆さんがSDGs達成に向けて個人的に行っていくこと、心がけてい

ることがあれば教えてください。

Sさん 書籍、インターネットと方法はさまざま

ですが、普段から色々と情報を集めています。そ

れから、節電を心かけています。

Tさん 審生活をしているのですが、寮で夜に湯たんぽが配布されているので、それを使ってあまり暖房をつけないようにしています。それが地球温暖化防止に繋がるかは分かりませんが、自分にできることとして実行しています。

Oさん 自分は節電や節水を心がけています。他、ごみが落ちている時には意識してごみ箱に入れてですね。Oさんはいかがですか。

武藤さん 最初に見た時に理解がしやすかつたのか。

Tさん カラフルで絵も付いていますし、文章も分かりやすいため、SDGsは人々に受け入れられそうだと感じました。

武藤さん その時の最初の印象は覚えていますか。

武藤さん では次に、皆さんがSDGsを知つたきっかけを教えてください。

Tさん 中学校の社会の授業で、どのような項目があるのかを初めて知りました。

武藤さん その時の最初の印象は覚えていますか。

武藤さん では次に、皆さんがSDGsを知つたきっかけを教えてください。

Tさん 分かりやすいため、SDGsは人々に受け入れられそうだと感じました。

武藤さん 最初に見た時に理解がしやすかつたのですね。Oさんはいかがですか。

武藤さん 環境保全エンジニアという職業を初めて聞きました。何か目指すべきがあつたのですか。

Sさん 学校の授業で地球温暖化について学んだ際に紹介されていて、興味を持ちました。

武藤さん Oさんはいかがですか。

Oさん 自分は将来的に授業から影響を受けたわけではありませんが、SDGsを学ぶ中で目にします。

武藤さん 自分はそこまで授業を作つていけるようになればと思いま

す。

武藤さん 環境保全エンジニアという職業を初めて聞きました。何か目指すべきがあつたのですか。

Sさん 学校の授業で地球温暖化について学んだ際に紹介されていて、興味を持ちました。

武藤さん Oさんはいかがですか。

Oさん 自分は将来的に授業から影響を受けたわけではありませんが、SDGsを学ぶ中で目にします。

武藤さん 環境保全エンジニアという職業を初めて聞きました。何か目指すべきがあつたのですか。

Sさん 学校の授業で地球温暖化について学んだ際に紹介されていて、興味を持ちました。

武藤さん Oさんはいかがですか。

ることができます。

Tさん 7番の「エネルギーをみんなに」は、節電をしつかり行えば今からでも貢献できると思います。

Oさん 先ほどの14番に関するの他には、15番の「陸の豊かさも守り」について、地域のボランティアのごみ拾いや掃除などに参加することでも、自分としても地球を守り、きれいにすることに貢献できるのかなと思います。



武藤さん 少し話を広げます。今日本において一番達成しなければいけない目標は何だと思われますか。

Tさん ジェンダー平等は、他の国に比べて日本がまだ遅れているところだと思います。制度としては平等にならきっていると思いますが、人の意識が追いついていないところが日本の課題かと思います。

Oさん 今SDGsで掲げている17個の目標全てを達成するのは非常に難しいと思います。ですが、これからSDGsの考え方を意識して、みんなで取り組んでいけるような地球が良いなと思います。

武藤さん 皆さんのものすべて本当に素晴らしい夢で、達成すべきものだと思います。これにてimentaryを終わります。貴重なお時間を頂き、ありがとうございました。

Oさん・Sさん・Tさん ありがとうございました。

います。

武藤さん 5番の「ジーノダ一平等を実現しよう」を達成するには、例えば学校教育にどんどん盛り込んでいったほうが良いと思われますか。

Tさん 「住み続けられるまちづくりを」です。日本人だから、外国人だから」という差別や不平等をなくしていく方が良いと思います。

Oさん 僕は10番の「人や国の不平等をなくせ」です。日本に在住する外国人が増えているので、「日本人だから、外国人だから」という差別や不平等をなくしていくことは、つくの責任という意味で問題になってくると思います。つかう責任ということでは、日本が輸入品におけるバーチャルウォーターとして外国の水を買いつぶめている現状があり、これは日本の課題と言えると思います。

武藤さん 再び個人の話に戻ります。17個の目標を見て、どうが「ゴールなのか分かりづらい」と思う目標はあるでしょうか。

Oさん 勉強不足だからだとは思いますが、17番の「パートナーシップで目標を達成しよう」の「パートナーシップ」の指す意味が分かりにくいです。

Sさん 9番の「産業と技術革新の基礎をつくる」についてですが、よく考えてみると、先進

国や日本は発展しているので、技術革新といつても上手にこなす人が多い気がしました。イメージが湧きついでいる気がします。

Tさん 「住み続けられるまちづくりを」です。曖昧というか、ぱっと見て理解できるようなものではないので、何をしたらよいのかあまり分からぬといいます。

武藤さん では最後の質問です。SDGsは2030年の達成が目指されていますが、将来にならざるを得ないといふ夢や願望があればお聞かせください。

Sさん 色々なことに関して、分かり合える世界になると良いと思っています。全てのことを分かれ合うのは難しいと思いますが、理解しようとすることは大事です。国際問題となると、壁が高そうだという理由で敬遠してしまう人も多いと思いますが、まずは関心を持ち、SDGsの17のゴールを達成するために進んでいける世の中になれば

いいと思います。

武藤さん 5番の「ジーノダ一平等を実現しよう」が湧きついでいる気がします。



と思います。

Tさん 戦争や紛争がない社会です。生きしていくためにどうしても環境を破壊しないといけない人もいます。そういう人たちも生活が豊かになり、楽になれば余裕もできて、世界的な問題に取り組んでいけるようになると思います。今苦しい生活をしている人たちが、楽に過ごせるような世界になつていこうと思っています。

Oさん 今SDGsで掲げている17個の目標全てを達成するのは非常に難しいと思います。ですが、これからSDGsの考え方を意識して、みんなで取り組んでいけるような地球が良いなと思います。

武藤さん 皆さんのものすべて本当に素晴らしい夢で、達成すべきものだと思います。これにてimentaryを終わります。貴重なお時間を頂き、ありがとうございました。

Oさん・Sさん・Tさん ありがとうございました。

高校1年生（大阪府）

M.T.さん U.M.さん

インタビュー 中筋裕樹さん



中筋さん じんにちは。今日はよろしくお願いします。

Tさん・Mさん よろしくお願ひします。

中筋さん 皆さん、SDGsは聞いたことがありますか。

Tさん・Mさん はい。

中筋さん 17のゴールの中で、特に興味のあるものは何でしょうか。

Tさん 1番の「貧困をなくす」です。

Mさん 私は10番の「人や国の不平等をなくす」です。

中筋さん それ理由をお聞かせいただけますか。

Tさん アフリカでの貧困が多い地域について、地理の教科書に写真が載っていて、それで興味を持ちました。自分たちと同じ世代の子たちが貧困からどうのが一番大きいです。

Mさん 同様です。

中筋さん 具体的に、募金とボランティアをどのようなジャンルでしてみたいですか。

Mさん 児童養護施設にお金を送りたいです。

中筋さん Tさんはボランティア活動について、いかがですか。

Tさん 大阪の天王寺に行くとボランティア活動をしている人たちがいますが、そうしたことを具体的に調べたことは無かったので、まずは調べるところからしてみたいです。

中筋さん お一人とも、ボランティアに興味があつても実際に移していないのはなぜだと思いますか。どうすれば、関心があるという状態にとどまらず行動にまで移せるでしょうか。

Tさん 療生活をしていて、部活や勉強で忙しいからというのが一番大きいです。

Mさん 同様です。

中筋さん では次に、今はあまり関心がないけれども、これから関心を持っていきたいと思うものがありますか。

Mさん 今日人権の授業で、北朝鮮が日本人を拉致したことを聞きました。平等ではないと感じ、日本人がかわいそうだと思ったからです。

中筋さん では、SDGsという縛りをなくして、海の豊かさを守るのです。

Mさん 理由は何でしょうか。

Tさん 以前二コースで総理大臣の秘書官の発言について聞き、差別が分かりやすく出ていると思つたので5番にしました。

中筋さん Mさんが14番を選んだのはなぜですか。

Mさん 私は14番の「海の豊かさを守る」です。

中筋さん 理由は何でしょうか。

Tさん 以前二コースで総理大臣の秘書官の発言について聞き、差別が分かりやすく出ていると思つたので5番にしました。

中筋さん Mさんが14番を選んだのはなぜですか。

Mさん プラスチックを利用する人が増えている、海の生き物がビニールやプラスチックのごみのせいでの呼吸ができなくなってしまうのがかいりで呼吸ができなくなってしまうのがかいりなどと思って、14番を選びました。

中筋さん メディアや授業であまり接する機会がないゴールについての関心、興味はどうでしょうか

Mさん プラスチックを利用する人が増えている、海の生き物がビニールやプラスチックのごみのせいでの呼吸ができないなって思いました。

中筋さん 気になつたことはネットなどで深く調べれば、もっと興味が湧くと思います。

Mさん 気になつたことはネットなどで深く調べて、人から情報を与えられる機会も重要な役割だと思います。SDGsに興味がない友達、あるいはSDGsを詳しく知らない友達に社会課題を伝えるとすれば、どんなことを意識して伝えれば良いと思いますか。

Tさん 例えば地球環境が破壊されていることであれば、今も破壊され続けていることを伝えることです。過去の話ではなく今どうすべきかを伝えることが一番大切だと思います。

Mさん 実際に困っている人たちの動画を見せれば、知らない人たちも少しは興味を持つてくれると思います。

中筋さん お一人がボランティア活動に取り組めないハードルを考えると、友達に関心を持つてもううだけではなく実際に行動に移してもらつたためには、伝え方以外の部分でどんな工夫があると良いと思いますか。

Tさん まずは自分がボランティア活動に参加してみたり行動してみたりして、実際に体験してか

か。

Tさん 例えば経済成長や産業というのは、自分の身近では聞きません。自分が直接関わることができないものだと感じます。

Mさん どれも非常に興味があるのですが、常に行動が分かりやすいですが、他のテーマでは分かれにくいものもありますね。

中筋さん 例えは14番であれば、日常生活の中でプラスチックごみを減らせば良いという具体的な行動が分かりやすいため、他のテーマでは分かれ良いのかが分からないです。

Mさん どれも非常に興味があるのですが、常に行動が分かりやすいため、他のテーマでは分かれ良いのかが分からないです。



中筋さん では、SDGsという縛りをなくして、天王寺や阿倍野はごみやタバコの吸い殻で溢れかえっている印象があります。集まつて大勢でやらなくても、自分から行動できることをすることが良いと思います。

Tさん ボランティア活動は、貢献できるイメージがあります。周りと協力しながら行う活動として身近です。

Mさん 募金などです。

中筋さん では受験で忙しくなる前に、SDGsに関連していくもしてもいいなって、何かしてみたい活動はありますか。

Tさん 天王寺や阿倍野はごみやタバコの吸い殻で溢れかえっている印象があります。集まつて大勢でやらなくても、自分から行動できることをすることが良いと思います。

Mさん 私は、リサイクルならば誰でも簡単に行動ができると思うので、リサイクルをやりたいです。

中筋さん Mさんはいかがですか。

Mさん 私は少し話を変えます。新型コロナウイルスが広がる前と後で、皆さんの社会問題に対する関心の度合いは、何かしら変わったのでしょうか。その点についてどのように感じますか。

Tさん テレビで毎日コロナの死亡者数がどうなのが流れていますが、その流れでテレビのニュースを見ることは増えていると感じます。

Mさん 最初は中国だけで広がっていたのであまり関心がなかったのですが、日本で広まり始めた時は身の危険を感じ、いろいろな社会情勢につ

中筋さん SDGsのゴールには、日常の中で関心を持てるテーマがいくつがあると思います。与

いて自分から調べたくなるということがありました。

中筋さん 口口ナウイルスが広がる前と後で、SDGsに対する関心の変化はありましたか。

Tさん 3番の「全ての人に健康と福祉を」に関心を持つようになりました。

中筋さん どんな経緯で関心を持ちましたか。

Tさん 色々な人が口口ナで亡くなっているのを聞きますが、口口ナが流行る前から、医療が受けられずに亡くなっている人たちがいたわけです。

Mさん 私も3番です。口口ナで入院する人が増えたために、本来ならばすぐ治るような病気の人が死亡にまで至ってしまうという状況が気になりました。

中筋さん 口口ナを通して、福祉や健康がより身近な課題になったのかと思います。皆さんにとってまだ身近ではない課題がより身近になるためには、どんな情報や取り組みが必要だと思いますか。

Mさん 新聞を読むことです。国の大策も必要ではないかと思います。現状をよりしっかりと伝えて理解や把握ができる、自分ができることは何か、もっと考えられると思います。

Tさん お一人は、普段新聞を読みますか。

Mさん 読みません。

SDGs インタビュー 高校生編③

高校2年生（大阪府）



T.M.
さん
Y.U.
さん

インタビュアー 石丸汐見さん



石丸さん SDGsのインタビューを始めます。

よろしくお願いします。

Mさん・Hさん よろしくお願いします。

石丸さん SDGsは「じ存じですか。また、何%ぐらい知つてらぬと聞えそうでしょうか。

Hさん 20%ぐらいです。

石丸さん Mさんも同じ感じでしようか。

Mさん はい。

石丸さん なぜ20%なのでしょうか。

Hさん 名前は知つていて、大まかには見たことがあるけれども、詳しくは知らないからです。

Mさん 同じです。

石丸さん 学校では習いましたか。

Hさん はい。ホームルームで授業がありました。

担任の先生が授業をしたり、外部から講師の方に来ていただいたら、不定期に行われる感じです。

石丸さん 私が高校生だった時はSDGsの授業は無かつたので、どんな授業か気になります。

⋮。

石丸さん あるあるですね。他の高校生も同じ感じですか。SDGsにすごく興味のある子がいるわけではなくて、みんなふんわりと聞いている感じでしょうか。

Hさん はい。

石丸さん ないという感じでしょうか。

Hさん はい。

石丸さん ではSDGsと聞いて思いつくキーワードはありますか。実際のゴールでなくとも、国連とか、きれい事とか、何でも正直に思いつくキーワードを教えてください。感覚的な部分でも良いです。

Hさん 地球にとつて良いことなのではないかと思っています。

Mさん 目標の絵が分かりやすく描いてあるので、そこから何をするのか読み取れます。ただ、日常生活に紐付けてはあまり考えたことがないと思います。

石丸さん ありがとうございます。意識高い系とかきれい事といったマイナスイメージはあまりないでしようか。

Mさん そうですね。

Hさん 本当にできるのかな、とは思います。

石丸さん 2030年までの目標になってしますね。去年実施したアンケート結果にも、それまでに本当にできるのだろうかという声はありました。

石丸さん では次に、17個の中でも、今お一人が関心のあるゴールを三つずつ聞いてみたいと思います。



インタビュー中の様子

中筋さん ニコースはどんなところから仕入れていますか。テレビでしようか。

Tさん 携帯のアプリです。

中筋さん ありがとうございます。僕からの質問は以上です。お一人とも、ありがとうございます。た。ボランティアなど、頑張って取り組んでください。

Tさん・Mさん はい。ありがとうございます。

中筋さん ニコースはどんなところから仕入れていますか。テレビでしようか。

Tさん 携帯のアプリです。

中筋さん ありがとうございます。僕からの質問は以上です。お一人とも、ありがとうございます。た。ボランティアなど、頑張って取り組んでください。

Tさん・Mさん はい。ありがとうございます。

インタビュー中の様子



でも、実は一番身近なものです。
石丸さん 問題があると言われつつ、自分ではあまり感じない。なぜかというと、日本では水環境が整っていて身近なものだから、ということですね。

Mさん はい。

石丸さん 逆に、あまりピントのない項目はどれでしょ？

Mさん 「パートナーシップで目標を達成しよう」ですか。

石丸さん じゃあはいですか。

リさん 同じ17番ですか。

石丸さん 次は、日本が解決すべき課題だと感じるものを、二つずつぐらい選んでいただければと思います。いかがですか。

リさん ジェンダー平等と、8番の「働きがいも経済成長も」です。

石丸さん Mさんはいかがですか。

Mさん 12番「つくる責任、つかう責任」です。

石丸さん それ理由を教えてください。

リさん ジェンダーは、日本は世界の先進国に比べて後れを取っていると思うので、早く解決したほうが良いと思いました。8番については、税金や物価が上がっているのに給料が上がっていない現状があり、気になっています。僕らが大人になつためならまだしも、他の国を脅かす目的、用途で

たときにそりゃあれば嫌ですし、働きがいがなく生活保護を受ける人も増えていくと思うので、これは解決したほうが良いと思います。

石丸さん Mさん、12番についていいかがですか。

Mさん 先ほどの6番「安全な水とトイレを世界中に」と同様、日本は比較的豊かな国なので、使うことにはたさを感じにくくなっています。今使っている服や食べものがどのようにできているのか、もう少し理解を深めたほうが良いと思つたので12番にしました。

石丸さん では次に、世界にとっての課題だと思つことにについても二つずつぐらい聞いてみたいですね。

リさん 一つは14番の海の豊かさ。もう一つは、迷うのですが、12番の「つくる責任、つかう責任」か16番「平和と公正をすべての人々に」です。

Mさん 私は13番「気候変動に具体的な対策を」と16番「平和と公正をすべての人々に」です。

石丸さん 16番の平和が共通していますね。理由をお願いします。

リさん 14番は絶対に解決すべきだと思います。海は領海があつても全部繋がつているので、早く戦争を長引かせているという話があります。難しい問題だなと思います。

石丸さん ウクライナの戦争は、平和への意識に影響があるでしょうか。

Mさん そうですね。ウクライナを支援しましょうという声をよく聞く一方で、支援しそうのものがなくなるようにしないと、その近くの国だけではなく全世界で問題になると思います。12番は、核兵器などを考えて選びました。自国を守るためにならまだしも、他の国を脅かす目的、用途で

Mさん 10番の「人や国の不平等をなくす」、5番の「ジェンダー平等を実現しよう」と、1番の「貧困をなくす」です。

石丸さん じゃあはいかがですか。

リさん 4番の「質の高い教育をみんなに」、7番の「エネルギーをみんなに」「そしてクリーンに」、11番の「住み続けられるまちづくりを」です。

石丸さん 一つも彼らなかつたですね。選んだ理由を聞いても良いですか。

Mさん 10番は、国ごとに、消費税の額や国からもらえる福祉サービスなどが異なるのはなぜだろうと思つていてるからです。

石丸さん 国の税金や支援といった、システム的なところの不平等が気になるのですね。ジェンダーのぼうせじゅうじょ。

Mさん 最近の一コースで、同性婚を否定する意見への世間の声が話題になつたからです。人の意見はそれぞれ違うので難しいのかなと思いつつも、でも平等になつたら良いなと思ったので5番にしました。貧困は、いつの時代もある問題だと思つています。少し前の新聞に、教育の予算を上げる話が載つていました。教育費がなくて困っている人もいれば違う理由で困つている人もいるのではないかと思つて、1番にしました。

石丸さん ありがとうございます。リさんばかりでしょ？

Mさん 7と11はどちらも、単純にSDGsと

石丸さん ありがとうございます。ちなみに今選んでいただいた三つの項目は、自分の生活にも身近なものでしょ？ それとも、自分の身の回りとなるとちょっと変わるものですか。

リさん 僕は自分の生活に身近なものです。

石丸さん 私は最近と言つよりは、二コースなどでも見てるだけではよく知らないこともあります。それで、深く知れたらという思いで選びました。

石丸さん Mさんのお答えには二コースや新聞という単語が多く出てきますね。では身近という点で選ぶとしたら、どの辺りですか。

Mさん 6番です。

石丸さん 「安全な水とトイレを世界中に」ですね。なぜでしょ？

Mさん 水は日本ではどこでも飲もうと思えば飲めるし、安全だと思っていますが、他の国は上澄みしか飲めない人もいます。水は大切だとたくさん教えてもらひますが、実感が湧きにくいです。

る」と、実践していることに觸れるホールはありますか。どんな小さじことでも良いです。

Mさん 2番「飢餓をゼロに」です。中学生くらいまでは、よく嫌いなものを残していたのですが、最近は出されたものは食べるようにしています。

石丸さん では先ほどの12番の服の背景についてはいかがでしょうか。

Mさん 服は結構お下がりをもらつていまわし、お母さんがよく中古の服を買つてくるので、いつも同じことで繋がることはあります。

石丸さん リさんばかりですか。

リさん 1番、2番に関わると思うのですが、一人でコンビニに行つた時、気が向いたら募金をしています。おつりが小さい時などに入れます。

石丸さん 一人でどうしたことば、人前では嫌だと云ふことがあります。

リさん 人前では恥ずかしさがあります。

石丸さん そろそろ終わろうと思うのですが、このインタビューを通して思ったこと、感じたことがあれば教えてもらいたいと思います。

Mさん リ君が募金をしていくというのが、衝撃でした。また、私とリ君で着眼点が違うことが面白かったです。12番で核兵器は考えたことがなかったので、クラスの他の人たちとも意見交換をしたら面白いのかなと思いました。

石丸さん リさんはどうですか。

リさん 考えた方が良いというのは分かっていても、具体的にどうしようか、なぜそう思っているのかなどあまり考えていないから、細かく考える良い機会になりました。

石丸さん 私も高校生の持っている知識量と問題意識の高さに衝撃を受けました。色々と聞いてみて面白かったです。本日はインタビューにご協力いただきありがとうございました。ではこれで終了です。また学校頑張ってください。

リさん・Mさん ありがとうございました。

SDGs インタビュー 高校生編④

高校2年生（大阪府）

E.H.さん M.I.さん

インタビュー 谷口倫汰さん



スを見ていたので、それが気になっています。

谷口さん ネコースなどで、SDGsに触れる機会が多いことですね。

谷口さん では、高校生が学校の授業でSDGsに触れる機会はどうのくらいありますか。

Iさん ほとんどないと私は思います。

谷口さん 学校にじみの分別や環境についても何か張つてありますか。

Hさん 職員室の前にポスターがたくさん張つてあって、その中にあります。

谷口さん 授業ではありませんが、たとえば、SDGs勉強会を企画して、その時にSDGs関連のものがつたと思います。

谷口さん 友達や周りの人たちで、SDGsにすぐ興味や関心のある人はいますか。

Iさん いないです。

Hさん そんなにいないですね。

谷口さん それを何で見ましたか。

Iさん 17個並んでいるチラシやポスターが、今はどこでも見られるので。

Hさん 学校もあります。

谷口さん 僕が高校生の時は存在も知らなかつたと思います。Hさんはいかがですか。

Hさん ジェンダーの平等があつたと思います。

谷口さん 少し前に札幌地裁であつた同性婚の判決の一

と云う発言もありますが、そんなことはないと思

います。個人的には、上の世代の人たちがまだ結構古い考え方を持っているイメージがありますが、高校生にどつてはどうじょうか。

Hさん SNSや他の国や動画を見たりすると、遅れていると思います。

谷口さん これは難しい質問かもしないのですか、高校生から見て、ジェンダーの課題はどうすれば解決できると思いますか。

Hさん 人の価値観を変えるのは厳しいですが、薄れてきています。私たちの友達には理解がない人はあまりいないので、そのうちなくなると思います。

Iさん 気候変動が一つあります。それよりもジェンダーではないでしょうか。首相の秘書官の話がありましたが、意識が低いと思います。

Hさん 遅れているなと思います。

谷口さん 今SDGsに少し関心を持つている高校生としては、将来どんな仕事に就きたいですか。

Hさん 私は学校の英語の先生になるか、航空会社で働きたいです。

Iさん 私は獣医師になりたいです。生き物が好きで興味があるので、動物の勉強が自分に合つていて樂しそうだと思います。

谷口さん 素晴らしいですね。
Iさん 獣医師関連では環境に関わるところもあります。そういう意味で選択肢が広くなるので獣医師の資格を取ろうと思っています。

谷口さん 高校生のときから夢がはつきりしていきました。僕が高校生の時には考えられませんでした。

Iさん

高校生のときから夢がはつきりしていきました。僕が高校生の時には考えられませんでした。



インタビュー中の様子

谷口さん 次の質問をします。SDGsの問題に

対して情報を集めたり、やってみようと思つたりしたことがありましたか。身の回りのこと、ごみの分別などなんでも良いです。

Hさん 確かに燃えるごみやプラスチックなど、分別はしています。

Hさん 確かに燃えるごみやプラスチックなどが落ちていたら、分解されないだろうと思つて拾います。

谷口さん 細かいところからしっかりと心がけているのです。

谷口さん では今度は、皆さんのほうから何か聞きたいことがありますか。

Hさん 関西NGO協議会は、大学生がやっていられるですか。

谷口さん いいえ。インターネットをしている僕は、

Hさん インターンとして半年間活動しています。ネットワークNGOといつて、関西にある他のNGOと一緒に活動をしているNGO団体です。ちなみにNGOは知っていますか。

Iさん ノンガバメンタル・オーガニゼーション(Non-governmental Organization)、非政府組織です。

谷口さん 僕は高校生の時には全く知りませんでした。NGOにはどんなイメージがありますか。

Iさん 井戸を掘ったり学校をつくったり、他の

貧しい国のためにというイメージがあります。

谷口さん さまざまな分野の仕事があります。地雷の撤去、子どもの教育、環境など。いじはそろした色々なNGOと繋がり、ネットワークを広げて、平和のために活動しているといいで

す。

谷口さん では質問に戻ります。SDGsの中で

Iさん イメージが湧きにくいゴールはありますか。

Iさん 9番の「産業と技術革新の基盤をつくる」です。



谷口さん 確かにこれは僕もイメージが湧きにくいと思います。

谷口さん 次は大きな質問ですが、どんな世界になつてほしい、どんな地球になつてほしいという希望はありますか。何を一番重視するでしょうか。

Iさん 例えば僕の場合は、動物の命を一つひとつ尊重するのです。お一人はいかがですか。

Iさん これから生きていいくための知識として、あつたほうが良いといふものから、なくてはならないものになつている気がします。続けていつてもっと世界のことを考えられるような人間になります。

谷口さん 私は国際関係の大学に進んで、そういう勉強をしたいと思っています。

谷口さん 少し話を変えます。今もウクライナで戦争が続いている、平和について考える機会があつたかと思います。平和に関する項目がSDGsにもあります、平和や核兵器などについて考えることはありましたか。

Iさん 世界平和のことは考えます。

Hさん 学校の方針としてそういうものがあります。世界平和に貢献できる人材になれるようにと

Iさん

いうことです。

谷口さん 平和についての講演などがあるのですか。

Hさん 月に2、3回、色々な話があります。

谷口さん では特に去年は考へることがあつたのです。

Hさん はい。

Iさん 井戸を掘つたり学校をつくつたり、他の

Iさん 地球の環境をこれ以上悪くさせないことです。SDGsでは陸の豊かさ、海の豊かさとか。人間のせいではなくなる命が少なくなれば良いと思います。アマゾンの森林破壊が一番良くないと思っています。森がなくなつてしまつと、それが地球温暖化など色々なところに波及していくと思うのです。

谷口さん それを勉強することは大切だと思いますか。

Iさん 知らないとどうしても関心が持てません。知つていれば、ごみを拾つことも、面倒といふのではなく地球のためになる、と。大げさかもしれませんが、モチベーションというか、抵抗がなくなると思います。

谷口さん Hさんはどうでしょうか。

Hさん これ以上悲惨なニュースを見たくないのでも早く平和になつてほしいというのが、今のところ一番です。

谷口さん 悲惨というのは人権とか。

Hさん 人権もそうですが、戦争が嫌なのでそれも早く終わつてほしいです。簡単に言えば全体的に仲良くなつてほしいのですが、住んでいるところも話している言葉も全部違うので、難しいとも思います。でも少しずつでも良いから、そういう国が増えているなら良いなと思います。

Iさん お一人とも、自分の夢を目指して大

Hさん あとあまり車を使わないで電車を使うな

谷口さん お一人とも、自分の夢を目指して大

Iさん ごみ拾いや分別です。

Hさん あとあまり車を使わないで電車を使うな

SDGs インタビュー

中学生編

Iさん 自転車も。
谷口さん 確かに関西、関東は電車で移動できますよね。僕は出身が九州なのですが車がないと生活できず、ほぼ車での移動です。田舎のほうが排気量が多いだろ?と思します。

谷口さん 僕の質問はこれで終わりです。何かご質問はありますか。

Hさん 谷口さんは、NGOでのインターンはやりたいと思って自分で入ったのですか。

谷口さん 僕は国際関係を勉強していくこれから海外の大学院に行くのですが、NGOで経験を積んでから行つたほうが良いと思って、今インターンをしています。

Hさん そのNGOのインターンをされている方は、大学1年生からいますか。

谷口さん 今年いるのはみんな大学4年生ですが、関西 NGO 協議会の場合は大学生であればインターンができます。

Hさん ありがとうございます。

谷口さん ではこれで終わります。本日はありがとうございました。期末テスト頑張ってください。

Hさん・Iさん ありがとうございました。失礼します。



中学生3年生（兵庫県）



A.K.さん

H.W.さん

M.H.さん

インタビューター 武藤雅隆さん

武藤さん 皆さん今日はよろしくお願ひします。
Kさん・Wさん・Hさん よろしくお願ひします。

武藤さん 皆さんはSDGsについて何葉をいる存
じですか。17個のアイコン一覧を見たことはある
でしょうか。

Kさん・Wさん・Hさん はい、知っています。
武藤さん ではSDGsに関して、関心はある
ほうでしようか。

Kさん・Wさん・Hさん あるはつだと思います。
武藤さん 理由を教えていただけますか。

Kさん 学校でよくSDGsについて勉強する
機会があるので、よく知っていると思います。

Wさん 例えば街でSDGsのポスターを見た
ときなどに、SDGsに関して何かしなければな
ど思っています。

Wさん はい。
武藤さん ありがとうございます。続いてKさ
んいかがですか。

Kさん 私は9番の「産業と技術革新の基盤を
作る」です。言っていることもあまり分からな
いし、絵も分からなくて、難しいと思います。

Hさん 私も同じで、9番と17番です。「パー
ナーシップで目標を達成しよう」というのが分
からないです。「パートナーシップ」とはどういう
ことなのかというのと、イラストがどうこうい
うのかなというのもあります。

武藤さん 次は皆さんにまつわる質問をします。
ご自分がSDGs達成に向けて行っていること
があれば教えてください。大きなことでなくても
良いですし、なければならないということで構いません。
Kさん 私は外出時に自分の水筒を持っていつ
て、あまり外ではペットボトルを買わないように
しています。

武藤さん プラスチックごみを出さないよ
うしているということですね。

Kさん そうです。
Hさん 私はマクドナルドなどで募金箱を見た
り、無視するのではなく募金しています。また、
ボランティアで地域掃除に参加しています。

武藤さん 募金を中学生の頃からできるのはすく
ないですか。

武藤さん ではSDGsを知ったきっかけにつ
いて掘り下げるといふと聞こえます。先ほどKさ
んが言っていたように、授業というのが皆さんの
中では大きいのでしょうか。

Wさん はい。

武藤さん 中学校の授業で初めて聞きましたか。
Hさん 私は中学校の授業が初めてです。

Wさん 中学校です。校外学習で海遊館に行つた
ときに、SDGsの広場、SDGsルームがあつ
たので、そのときに触れました。

Wさん はい。日本はいま水がとてもきれいで、水
道水も飲める環境ですので恵まれていると思いま
す。違う国では、水道から出る水を飲んだら死ん
でしまうとか、病気になってしまことがあります。
Wさん 私は6番の、「安全な水とトイレを世界
中に」です。日本はいま水がとてもきれいで、水
道水も飲める環境ですので恵まれていると思いま
す。違う国では、水道から出る水を飲んだら死ん
でしまうとか、病気になってしまことがあります。
Wさん 6番のCMなどで見て、きれいな水はどこで
も大切なのだなと思いました。

Kさん 私は14番の「海の豊かさを守ろう」で
す。魚の体の中にマイクロプラスチックが入っ
て、それが自分の体にも入ってくるかもしれない
という危険があります。自分たちが捨てたごみ
がそのまま返ってくると思ったら、自分からごみ
を回収しないといけないとと思いました。

Wさん 私は17個の目標を知っていて関心
が高いということですが、中でも一番関心が高い、
あるいは達成したいという目標を教えてくださ
い。

Hさん ジェンダーの問題が、私は心に来ます。
武藤さん 関心が高いのですね。理由をお聞きし
ても良いですか。

武藤さん では次に、ぱっと見て、アイコンだけ
では何を達成するのか分かりにくいう「一
ル」があれば教えてください。

Wさん 私は1番の「パートナーシップで目標
を達成しよう」です。パートナーシップで目標を
達成するというのは何となく分かるのですが、口
のイラストはどういう意味なのかなと思いました。

Hさん ジーの国かは忘れましたが、マクドナル
ドなどのストローを紙ストローにしたり、店内で
食事をするのであればコップを紙コップではなく
洗えるコップにしたりしているのを見て、日本で
むやうするべきではないかと思いました。

武藤さん そうなると、近いのは14番の「海の豊
かさを守ろう」でしょうか。

武藤さん 五つ輪が繋がっている、これが分かり
ついでないことですね。

Hさん 女子はこう、男子はこうだと決めている、
本当にそういうのが嫌だというか、おかしいので
はないかと思つていてるからです。

Wさん 私は6番の、「安全な水とトイレを世界
中に」です。日本はいま水がとてもきれいで、水
道水も飲める環境ですので恵まれていると思いま
す。違う国では、水道から出る水を飲んだら死ん
でしまうとか、病気になてしまつことがあると
いうのをCMなどで見て、きれいな水はどこで
も大切なのだなと思いました。



インタビュー中の様子

あるのに、日本は女性が総理大臣になったこともないですし、国会の男女比率がすこし偏っていることもとても気になります。



武藤さん では次に SDGs 達成に向けて、今これから自分でできることや、こんなことをやっていきたいという目標、やりたいことがあれば、お聞きしたいと思います。Wさんからよろしいですか。

Wさん マクドナルドで、障害のある子どもたちが集まっているところに手伝いにいくボランティア活動があるのを、少し前に知りました。そういうところに行つて、困っている人や家族の方のケアの活動をしてみたいと思っています。

武藤さん ありがとうございます。先ほども出ていましたが、マクドナルドのそういう活動は身近なのですね。Kさんはいかがでしょうか。

Kさん 私は浜辺でペットボトルなどのごみを拾っている映像を見たことがあります。それをするだけでも少しは役に立つのかなと思って、今後してみたいと思います。

SDGs インタビュー 中学生編②



中学生2年生（兵庫県）
M.K.さん S.S.さん Y.N.さん
インタビューター 中筋裕樹さん

とですね。

Sさん はい。

中筋さん じふにちは。よひこくお願ひします。
Kさん・Sさん・Nさん よのしくお願ひします。

中筋さん 指さん SDGs を聞いたことはありますか。

Kさん・Sさん・Nさん はい、あります。
中筋さん 関心のほうはどうでしょうか。
Sさん あまりないです。

Kさん ないことはないですが、普通ぐらいでです。
中筋さん それはなぜでしょうか。
Sさん もともとそういうことをあまり知らないで、今直接自分に関わる問題ではないのかなと思っています。

Nさん 毎日 SDGs のことを考えているわけではないのです。
中筋さん 17個のゴールが、自分自身の生活に影響を及ぼすという意識や感覚もないというこ

中筋さん 興味があまりない中で、そういうた
ニコースやネットの記事を目にしたときに、何か
感じるのはありますか。

Sさん 具体的なものを見て、その時は良い動き、
はたらきだと思つのですが、他のニコースを見る
と忘れてしまいます。そこまで関心が湧かないの
だと思います。

Kさん 今地球でじゅうじゅうことが起きているんだ
な、と思うぐらいです。

中筋さん ではSDGs からは離れて、世界あるいは日本国内で関心のある社会問題はありますか。
Sさん 少子高齢化などです。
Nさん 地球温暖化です。



インタビュー中の様子

武藤さん マイクロプラスチックを増やさないためにどういことですね。では最後に Hさんお願いします。

Hさん 今行つている地域掃除や募金を続けること、エコバッグを持ち歩くなどのシンプルなことを、田舎からできるようにしたいと思います。

武藤さん 田舎からじつじつとやつていただきたいですね。
Hさん はい。無意識にできるのが一番かと思います。



武藤さん 最後の質問です。SDGs に関連してもよいのですが、今後世界がどのようになってほしいか、じついう状況になつていてほしいといふ、夢や目標はありますか。自分の行動によってではなく、大ざっぱな夢でも良いです。将来的にこうなつていたら良いと思うことをお聞きできればと思います。

Hさん 人口ではなくナチュラルな自然が、将来残つていたら良いと思つています。

武藤さん 良いですね。他のお一人もうなずいているので、そなつてほしいのだなということを感じます。インタビューは以上です。貴重なお時間いただき、ありがとうございます。

Kさん・Wさん・Hさん ありがとうございます。

Kさん お礼します。

武藤さん 全国的に、都市部でもじつじとですね。
Hさん 全国的にです。地球。緑。青。豊かといいじとです。

武藤さん 面白いですね。Wさんはいかがですか。

Wさん 私は、今少しずつ変わってきていることは思いますが、男女の差です。給料も就ける仕事も、変わつていて差がなくなつていれば良いなと思います。

武藤さん ありがとうございます。では最後に Kさんお願いします。

Kさん 今はまだ、見た目が男の人でも心、中身が女だたりすることに差別がある社会です。自分が大人になった時には、それがなくなつたり、同性婚が認められたりしていれば良い社会なのかなと思います。

武藤さん 良いですね。他の二人もうなずいているので、そなつてほしいのだなということを感じます。インタビューは以上です。貴重なお時間いただき、ありがとうございます。

Kさん・Wさん・Hさん ありがとうございます。

Kさん お礼します。

たか。

Nさん 知っています。

中筋さん SDGsには興味がないけれども、地球温暖化には興味がある。Nさんが皆さんの中でリンクしていないといつとこるが、SDGsに対する興味のなさという形で表れているのかと思います。なぜそこが繋がっていないのだと思います。

Sさん 学校あまり授業がなく、知る機会が少ないとことです。
中筋さん 他のお一人も同じですか。

Kさん はい。



中筋さん 質問を変えます。SDGsにあまり関心のない皆さんにとつて、SDGsや他の社会問題に対して関心を持つている同年代や大人というのは、どんなふうに映っていますか。

Sさん 社会のこととかを考えていらなど感じます。Sさんは皆さんにとって、結構遠い存在です。

中筋さん それは皆さんにとって、結構遠い存在という感覚でしょうか。

Kさん はい。

Sさん 身近ではないです。

Nさん 思いつきません。

中筋さん 皆さん、関心のある社会問題はそれぞれあるとのことでした。生活の中でもそれなりに、そうした情報に触れる機会はあるかと思います。それがボランティア活動やSDGsというよりも大きなテーマに繋がらない理由は何だと思いますか。

Sさん SDGsについて考えていないからだと思います。
中筋さん SDGsについて考える機会はないけれども、社会問題について考える機会はどうでしょうか。それでもないですか。



Nさん SDGsについて考えていないからだと思います。
中筋さん 社会問題に関心があるとか、理由としては色々とあるかと思いますが、皆さんの中ではみたいボランティアはありますか。

Sさん 普通にごみ拾いや、僕は少し英語が話せるので、外国人へのボランティアには興味があります。

中筋さん 例えは、何かしてみたいボランティアはありますか。なさそうならなさそうでも大丈夫です。

中筋さん 誘導のようになりますが、今SDGsの中に地球温暖化に関連するものがあるということが分かつて、皆さんのSDGsへの関心が変わることもありますか。それとも特に変わらずこれまで通りでしようか。

Sさん もう少し軽にしてみようとは思いました。

た。

中筋さん まだありますか。なさそうならなさそうでも大丈夫です。

Sさん 一つは、まだ中学生なので自分一人で

まり行動できていないことといつとです。あとは、

どう行動したら良いのかをあまり考えないからと
いうことがあります。

Nさん まだあまり意識に入れていないです。

何かあってもどう動いたら良いのか分かりませ
ん。

Kさん どうしたら良いのか分からなかからで
す。

中筋さん 具体的に一人の人間としてどういふことをすれば
解決に近づくのか分からない、といつ感じでしょ
うか。

Sさん そうです。

中筋さん ありがとうございます。先ほどSさ
んは、自分一人では行動できないとおっしゃって
いました。それは具体的にはどういった背景があ
りますか。

Sさん まず、やはり習い事など自分のことが優
先されてしまうので、時間があまりとれないとい
うことがあります。あとはあまり遠くに行けるわ
けではないので。

Kさん 身近な人です。



中筋さん 学校の先生方の社会問題に対する意識
は、皆さんから見てどんな感じですか。

Nさん 結構話しています。

Sさん まあまあ考えつつ、僕たちに発信してい
るのかなという感じです。

中筋さん それを見たり聞いたりして皆さんはど
う感じますか。「そんなことがあるんだ」という
感じですか。

Sさん・Nさん そうです。

Nさん 一人であるより、皆であるほうがやりや
すいです。

Kさん 学校からのほうがやりやすいです。

中筋さん 特にSDGsに関係なく、コロナウ
イルスが広がってから、皆さんの世の中に対する
見方が変わったといつはありますか。

Sさん 少しずつニースを見る機会が多くなっ
ています。

Kさん 何人感染したのかといつことでニース
を見る機会が増えました。

Nさん 私もコロナ前よりは増えました。

中筋さん 最初はコロナに対する関心からニース
など見始めたと思うのですが、もともと関心が
なかつた問題に関心が向きましたといつことはあ
りますか。

Kさん 他の国同士の戦争とか、社会問題です。

Sさん 少しずつ触れる機会が多くなったとい
う

中筋さん 皆さん周りで、同年代の方でも大人
の方でも、実際にボランティアなどで社会問題に
取り組んでいる方はいらっしゃいますか。

Sさん いることはあります。

Nさん・Kさん あまり周りにはいません。

Sさん SDGsについてみたいと思いますか。

中筋さん 高校に入ったとき、社会問題系の部活
があれば入つてみたいと思いますか。

Sさん 例えは先生ではなく、こういった人に言
われたら関心を持つだろう、行動に出るだろうと
いう人はいますか。

Sさん 友達や、親などです。

中筋さん 皆さん周りで、同年代の方でも大人
の方でも、実際にボランティアなどで社会問題に
取り組んでいる方はいらっしゃいますか。

Sさん いることはあります。

Nさん・Kさん あまり周りにはいません。

「」こと、社会問題に関心が向くようになりました。

中筋さん 皆さんは地球温暖化などに関心があるとのことでしたが、それはどういう経緯だったのですか。

Nさん ニコースなどで話題が増えてきて、Nさんがニコースで流れていたら見てします。

中筋さん ニコレジやインターネットに出ていると、関心を持ちやすいところはあるのでしょうか。

Sさん はい。

Nさん ニコースで流れていたら見てします。

中筋さん では最後の質問です。皆さんにどうて何かしら理想の社会、世の中というものがあるかと思います。そこに向かって社会がある人は皆さんがどんな活動をしていかないと感じますか。

Sさん さまざまのことに関心を持つことがあります。

Kさん 募金活動などです。

Nさん そう思います。

中筋さん ありがとうございます。ではこれでインタビューを終わらせていただきます。お忙しい中ありがとうございました。

Kさん・Sさん・Nさん ありがとうございました。

した。

おわりに

いかがでしたでしょうか。

それぞれのインタビューカラは、「はじめて」で述べた「自身の関心の高さ

や理解度に対する自己評価の基準が様々である」と他、「SDGsを初めて知ったきっかけやそのときの第一印象」、「SDGsを感じていないことの要因」など、2021年度のアンケート調査時には掘り下げることが難しかった部分が見えてきているのではないかと思います。また、「ゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」への関心の高さや情報源としてのテレビ・インターネット・学校の授業の重要性など、2021年度のアンケート結果を裏付けるような答えも得ることができました。

その他、自分にできることを「ツコツ

とやっている方、ただし2030年までのSDGs達成にはそうした個々人の努力だけでは足りない・間に合わないと思っている方がいることがわかりました。

その一方で、足りない・間に合わないと

思つていながらも、ではより大きな動きを推し進めるために具体的に自分に何ができるのかというところまでは、なかなか見えづらさと感じている方が多いという印象です。その意味ではやはり、「SDGsを自分事として考えること」というのは、難しいことだと言えるのかもしれません。

とはいって、何かしらの運動や活動を自ら起こすとまではいかずとも、署名運動への参加や選挙での投票なども、例えば大企業や国・自治体を動かすような大きな動きに繋がり得る、立派な一つの行動です。日本のユースについて、政治への関心が高い人・自分で国や社会を変えられると思う人の割合が諸外国に比べて低いというデータ¹も存在しますが、もしその中に「何かしたいと思うけれどもどうすれば良いのかわからない」というユースがいるのであれば、これまで市民社会がどのように社会・世界を動かしてきたのかを日本のユース世代に広く知つてもううことが、そうしたユースたちに道標を示すことになるのではないかでしょうか。



¹ (参考) 内閣府「特集1 日本の若者意識の現状・国際比較からみえてくるもの」『令和元年版 子供・若者白書』日本財団「18歳意識調査」第20回テーマ:「国や社会に対する意識」(9カ国調査)

関西NGO協議会はこれからも、ユースの声を社会に届けるための一翼を担い、SDGsの達成に向けて、ユースへ、そしてユースと共に、市民社会からの発信を続けていきます。この冊子を手にとつてくださった皆さんには、今後も関心を寄せていただけますと大変幸いです。

中高大学生を対象とした SDGsヒアリング調査 インタビュー集 2022

2023年3月発行

編集・発行 特定非営利活動法人関西 NGO 協議会
〒530-0013 大阪府大阪市北区茶屋町2-30 4階
TEL: 06-6377-5144 FAX: 06-6377-5148
メール: knc@kansaingo.net

編集・執筆 仲井友佳子、菅野諒子
監修 栗田佳典

装丁・デザイン 竹本綾乃

印刷 有限会社糸書房

本冊子の内容及び使用されているイラストや写真の全部または一部を無断で複製・複写することは禁止します。

本調査および本冊子の作成は、独立行政法人環境再生保全機構「2022年度地球環境基金」の助成を受けて行いました。

この印刷物は、自然エネルギー（バイオマス）による電力を活用して印刷しました。



QRコード



SDGs in KANSAIについて

SDGs in KANSAIは、市民社会の立場から、企業、教育機関、行政とのパートナーシップを重視しつつ、「自然・環境」「経済」「社会」の調和と、市民の意思を反映させた決定のプロセスを大切にする取り組みです。SDGsが示している課題は国際社会、日本社会、地域社会それぞれのレベルで私たちの生活と密接に関わっています。2030年の関西、日本、世界を想い、ぜひ私たちと一緒にSDGsについて考え、それを行動に移し、誰ひとり取り残すことのない社会の実現に向けて歩き出しましょう。詳しくはHPをご覧ください。

SDGs in KANSAI:

<http://kansaingo.net/kansai-sdgs/>

QRコード



ワン・ワールド・フェスティバル for Youthについて

ワン・ワールド・フェスティバル for Youthは、関西 NGO 協議会が事務局を務める高校生を中心としたフェスティバルです。問題を知るだけでなく、解決に向けて何かアクションを起こしたいというユースが「最初の一歩」を踏み出すべく、「高校生実行委員会」や「ボランティアリーダー」として、定期的に会議を重ね、テーマの決定、企画、運営、広報など準備をし、開催しています。詳しくはHPをご覧ください。

ワン・ワールド・フェスティバル for Youth:

<https://owf-youth.com/index.html>



関西 NGO 協議会について

私たちは、主に関西に活動拠点をおくNGOが全国・世界のNGO/CSOと連携を強め、NGO/CSO同士のネットワークを形成し連帯を促進することで、それぞれの活動をより充実・発展させることを目的としたネットワーク型の国際協力NGOです。普及啓発活動の他、政策提言活動や相談対応、助成事業など、様々な活動・事業を行っています。

詳しくはHPをご覧ください。

関西 NGO 協議会:

<https://kansaingo.net/>



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

